

## 理事長就任挨拶

新潟県税理士協同組合理事長 三村 宰



令和5年6月29日、新潟県税理士協同組合第57期通常総代会において理事の選任をいただき、その後の理事会において理事長を拝命させていただくことになりました。平

成27年に常務理事に就任してから8年間が経過し、理事長として1期2年が経過しました。力不足の身ではありますが、何とか務めを果たすことができました。今後とも組合員・賛助会員(以下組合員等)の皆様のご理解とご協力をいただきながら、2期目を精一杯務めてまいりたいと思います。

この令和4年度は県税協の各事業の元気を取り戻すための一年だったと思います。各地域業推の活性化や研修会の充実を図ることができました。サテライト会場での研修会も大変好評をいただいております。また、福利厚生事業においてもチャリティーゴルフ大会、親善麻雀大会等を開催することができました。皆様の活気を感じながら事業を進めることができました。誠にありがとうございました。

毎年2月に全税共事業の優績営業職員表彰式を行っておりますが、例年利用させていただいていた会場の閉業にともない、会場が変更になるという問題が生じております。県税協にとって柱の事業の一つなので、新会場においても滞りなく、ご迷惑をおかけすることなく表彰式を執り行えるよう検討を重ねているところです。また、秋に予定している親善麻雀大会の会場も例年の会場が閉業となったため、新会場を探しているところです。参加者皆様のご期待に沿えるよう会場準備に努力して

まいります。

さて、茶道や武道などにおける師弟関係の在り方の一つとして「守破離」という言葉があります。

「守」伝統を守ること

「破」守を破り、他で学んだことを実践すること

「離」守と破を大切に、そこから離れて新境地を作ること

歴代理事長は顧問になられます。顧問はいろいろな話を教えてください。過去、税協が財政的に苦しかったこと、どうやって収入を伸ばしていったのか、様々な組合員等の思いをどうまとめていったのか。また、組合員等の皆様からもいろいろなご意見をいただきます。これらを考えていくと税協の大事な部分が見えてまいります。

「変えてはいけない部分は守りながら、新しい挑戦を続けること」

この言葉を大事にしながら税協事業に邁進していきたいと思っております。

協同組合には「一人は万民のために、万民は一人のために」という基本的目的がございます。この目的達成のため、税理士会新潟県連、支部及び関連団体とのいままでの連携をより強固に図り、組合員等の皆様にさらに充実した新たな支援を行うという挑戦を続けていきたいと考えております。

終わりに、協同組合の組織は組合員等の皆様方のご理解があって成り立っております。税協の事業活動は組合員等を始め、提携企業各社様のご支援ご協力があって成り立っております。今後とも今まで以上のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。就任の挨拶とさせていただきます。